



ぼくは恐竜造形家

荒木一成作 岩崎書店

子どもの頃に一冊の本と出会ったことで、恐竜の模型作りを始めた荒木さん。博物館の復元模型、お菓子のおまけのフィギュア、そんな模型の原型を作るのが彼の仕事です。でもそれを専門の職業にしたのは、つい最近のこと。実は病院で鍼灸師をしながら、模型も作っていたのです。リアルな模型を作るのに必要なのはまず骨格を理解すること。病院で多くの体に接した経験はそんな部分に生きています。

夢を形にする人生を選ぶまでには、多くの人との出会いがありました。

